

太陽シールパック株式会社



くじ引きでの日替わりデスク! ~交流で業務効率化~

オフィス内で固定席を設けない 「くじ引きアドレス」の導入

化学品や医薬品などを入れる際に使用する産業用容器ファイバードラム(紙製のドラム缶)の全国シェアトップの企業である。ファイバードラムは一般的な鉄製ドラム缶よりも軽量で扱いやすく安価であり、十分な強度もあるため、高付加価値の粉体の輸出用や国内輸送用として使用されている。2016年の和歌山本社・工場の新築移転を機に、事務部門では毎朝出勤する際にその日に座るデスクをくじ引きで決定する「くじ引きアドレス」を導入。従業員

同士のコミュニケーションが円滑となり業務効率化に成功している。対象となる従業員はデスクワークをする約15名であり、工場長、営業職員、受発注担当者、技術職員も含まれてい

る。従業員は出勤の際、職場の入り口付近にあるタブレットをタッチしてランダムに表示された数値に対応した座席表でその日のデスクを決める。ロッカーが1台ずつ割り当てられているため、保管しているパソコンと使用する備品などを持ってくじ引きで決定したデスクへ移動する。デスクは大きく開けたワンフロアに整然と並んでおり、常勤役員の座席も同様のフロアに設置されているため、くじ引きの結果次第では役員と隣席となることもあり、デスクが入れ替わることで担当業務の異なる様々な人材の交流が可能となり刺激が生まれている。

従業員同士のコミュニケーションを強化

2016年の移転以前、本社建物は道路を挟み複数に分かれていたため、従業員も部署別に分断されている状態であった。デスクについても業務別に配置されていたため、毎日同じデスクで業務を行っていた。このような状態では担当する業務の範囲に凝り固まってしまう、部署間で

の軋轢が生じやすい状況に感じていた。従業員同士のコミュニケーションについても取りづらいため、部門別の業務を完全に理解できずに意思疎通が足りていないこともあった。そこで新本社の移転を機にコミュニケーションの活発化を目的に社長のリーダーシップのもと、「くじ引きアドレス」の導入に踏み切った。当初は毎日自由にデスクを選択する制度も検討したが、出勤するタイミングによっ

ては同じデスクを選んでしまうこと、同じグループで集まってしまうことで効果が減少するのではと考え、くじ引きでランダムにデスクが決まる方式を採用した。全国的に見ても画期的な取組のため、社内でも多少のとまどいはあったが、現在では従業員より「普段話せない人とも話することができる」と好評を得ることができている。



最終退社時刻の設定 ⇒残業時間20%以上減少!

毎日ランダムに業務が異なる従業員とコミュニケーションを持つことで、お互いの仕事への理解と協力の意識が非常に高まっている。デスク



が近いことで自然と相互にどのような業務を行っているのか把握することができ、業務を進める中で必要となる情報交換や意思疎通が円滑となることで業務効率化の効果があつた。隣席での電話対応

の内容からお客様の声を感じる良いきっかけにもなっている。また、退社時には自身のパソコンや書類をロッカーへ入れてデスクには何も無い状態となることから整理整頓を心がけるようになり、デスクは共有するものという意識が生まれた。デスクや引き出しの周りに物が溢れている状態がなくなることで仕事が効率化する効果も出ている。

この取組とともに、残業時間削減のため遅くとも午後8時までに社内にいる全員が退社する最終退社時刻を設定した。最終退社時刻を定めたことで、工場間・従業員間で協力体制を構築することに繋がり、残業時間が20~30%減少。それに伴った生産性向上の相乗効果で、生産量は約10%程度増加した。2017年には最終退社時刻を午後7時30分へ繰り上げることに成功しており、2022年までには午後7時にする 것을目標としている。

企業情報

【業種】 パルプ・紙・紙加工品製造業 【資本金】 2,000万円 【従業員】 100名
【所在地】 和歌山県和歌山市西浜1660番700号
【HP】 <http://www.taiyosealpack.co.jp/>

●事業概要

パルプ・紙・紙加工品(ファイバードラム製造)各種包装資材の企画・開発・販売

●各種アワード 地域未来牽引企業(経済産業省、2018)、

ベストプラクティス企業(厚生労働省、2019)、結婚・子育て応援賞(和歌山県)

